



びえいフーズ農作物情報

2016年8月号

北海道内は全般的に天候不順で、農作物の収量に影響が出そうです。北海道が発表した7月15日現在の農作物生育状況では、特に豆類で2～6日の遅れが出ています。美瑛地区は、7月に入り最高気温が25～29℃程度、平均気温は20℃前後ですが、6月の遅れを取り戻すまでには至っていません。



(左)早く作付したインゲンの圃場。天候回復を待って収穫作業の予定。草丈は前年同様低い。
(右)遅めの圃場。発芽が6月の天候不順時期であったため、生え切れが多い。



どの株を見ても着果数が少なく、熟度のバラつきが大きい。草丈が低いので、実の先端が地面に付いているものがある。収量大幅減の可能性が大きい。



(左)馬鈴薯。今年の開花は6月28日、終花期は7月13日。茎長、茎数ともに平年並み。
(右)かぼちゃ(ケント)の実がなりはじめたところ。(7月29日撮影)